

# 授業計画（シラバス）

氏名 **柳澤厚生**

授業科目の名称	<b>オーソモレキュラー栄養医学</b>		
配当年次	1年次	配当学期	後期
年間開講数	1回	単位数	2単位
必修・選択の別	必修	授業の方法	講義

授業形態：講義

目標と授業内容：オーソモレキュラー医学とは、適切なビタミンやミネラル等の栄養素を適切な量を取り

正しい食  
の栄養を  
ある。

入れることで、病気の予防や治療を行う医療で、欧米を中心に発展してきた。

事だけでなく、時にはメガビタミン療法や高濃度ビタミンC点滴などで高濃度  
補充する。専門的な知識を持った医療従事者の指導のもとで行うことが基本で

オーソモレキュラー栄養療法の基本と様々な疾病に対する治療法、そして必要

なコミュ

- |      |                            |                      |
|------|----------------------------|----------------------|
| 第1回  | オーソモレキュラー栄養療法総論①           | オーソモレキュラー医学とは何か      |
| 第2回  | オーソモレキュラー栄養療法総論②           | ビタミンC（アスコルビン酸）       |
| 第3回  | オーソモレキュラー栄養療法総論③           | ナイアシン（ビタミンB3）、ビタミンD他 |
| 第4回  | オーソモレキュラー栄養療法総論④           | マグネシウム、亜鉛ほか          |
| 第5回  | オーソモレキュラー点滴療法各論①           | マイヤーズカクテル            |
| 第6回  | オーソモレキュラー点滴療法各論②           | 高濃度ビタミンC点滴療法         |
| 第7回  | オーソモレキュラー点滴療法各論③           | キレーション療法             |
| 第8回  | オーソモレキュラー点滴療法各論④           | オゾン療法、培養上清療法         |
| 第9回  | オーソモレキュラー医学 各論①            | がん                   |
| 第10回 | オーソモレキュラー医学 各論②            | 感染症（細菌からCovid-19）    |
| 第11回 | オーソモレキュラー医学 各論③            | 脳の老化とアンチエイジング        |
| 第12回 | オーソモレキュラー医学各論④             | 精神疾患および行動障害          |
| 第13回 | 医師と患者のコミュニケーション（コーチングスキル）① |                      |
| 第14回 | 医師と患者のコミュニケーション（コーチングスキル）② |                      |
| 第15回 | 総括                         |                      |

参考図書 エイブラム・ホッファー、アンドリュー・W・ソウル 著／中村篤史 訳  
オーソモレキュラー医学入門（論創社）